

港労研通信

第39号 2026年7月31日

全国港湾労働組合連合会（全国港湾）
 港湾労働政策研究所（港労研）
 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-10-2
 日港福会館1階
 TEL 03-3733-2561 FAX 03-3733-2627
<http://zenkokoku-kowan.jp/>

全国港湾活動日誌 <7/1 ~ 7/31>

7/2 港湾労働政策研究所 苫小牧国際CT視察

港労研は苫小牧国際コンテナターミナル（TICT）を訪問し、CT運営側との意見懇談を実施した。懇談では、貨物量の動向、人材確保、災害対応、DXの推進、地方港を取り巻く政策課題などについて意見交換を行った。また、懇談終了後には地元労働組合役員（北海道港湾、港運同盟北海道地本）との意見交換も行い、港湾現場における労働環境や人材確保の実情について認識を深めた。

詳細は別途報告書を参照。



7/6 第9回常任中執会議

<報告事項> 1. 第2回港湾福利厚生拡充に関する専門委員会について（6/29）2. 国交省港湾局長の会見報道について 3. 日興サービス分会（全港湾）の賃上げ交渉支援について 4. 遠隔操作RTG導入に関する課題について 5. 港労研事務局会議と今後の取り組みについて（6/25） 6. その他 ①新橋駅前宣伝行動（7/2雨天中止）②全労連・国民春闘共闘訪問 ③石綿被害救済の学習冊子購入

<検討事項> 1. 石炭火力発電所の休廃止等に伴う港湾運送への影響に係る連絡対策会議フォローアップ会合について（7/10） 2. 労使政策委員会に向けた考え方について ①安全専門委員会の開催 ②着手を急ぐべき課題（週休二日制の実施状況、料金PT、別枠協議/放射線量協議、日興サービス分会の賃上げ支援） 3. 第19回定期大会の準備について ①26年度運動方針案 ②役員選考委員会の設置 ③大会決議案 ④大会のオブ参加 4. 「JAL不当解雇撤回100万人署名」の取り組み 5. その他 6. 当面の日程

7/7 陸海空港湾20労組事務局打合せ会議

7/10 石炭火力発電所の休廃止等に伴う港湾運送への影響に係る連絡対策会議フォローアップ会合

（FAX第3号）

<討議経過> 1. 第3回連絡対策会議で合意された支援施策の状況について ①発電事業者に向けた要請文書発出（3省庁連名）/休廃止等の日程の前広な情報共有等 ②大手発電事業者における対話・対応の状況をフォローアップする枠組みの構築 ③港湾運送事業法の運用による対応/港運事業の調整、労働者の雇用や就労への影響の

最小化を図るための期間の設置 ④関連団体に向けた要請文書等の発出/港湾を整備する団体、洋上風力団体への情報提供、ハローワークにおける相談支援体制の強化 2. エネ庁より「石炭火力をめぐる状況（中東情勢を踏まえた石炭火力の活用、火力脱単組化計画における情報収集等）」について説明を受けた 3. 意見交換 ①組合意見/港湾労働者や事業者支援が届いていない、地域経済を守るべき、今後の留萌港への対応、「公正な移行」が付帯決議を守っていない ②行政意見/国交省として今後も支援策を講じていく。

7/15 第2回役員選考委員会

<確認事項> 1. 6月29日の選考委員会で検数労連の高木氏を選考委員長に決定 2. 当面の取り組み事項の確認 ①公示期間は8月3日～8月31日 ②役員体制及び総数は副委員長を現行4名から3名、中央執行委員を現行24名から25名、総数は現行同数の34名を基本とする。代行ポストは必要であるとの認識で選考していく。③出身単組を持たない役員立候補者（玉田氏）を次期役員候補者に推薦していく。④役員立候補者の届出は8月31日までとする。

7/15 第13回中執会議（FAX第4号）

<報告事項> 1. 第2回港湾福利厚生拡充に関する専門委員会について ①港湾福利分担金 ②分担金の活用方法と仕組み及び事業内容 ③港湾福利分担金の収受・交付・福利厚生事業の流れ ④専門委員会での協議概要 2. 国交省港湾局長の会見報道について 3. 日興サービス分会（全港湾）の賃上げ交渉支援について 4. 遠隔操作RTG導入に関する課題について 5. KICT（ターミナル統合）の課題について 6. 港労研の取り組みについて 7. 本牧D-5におけるターミナルゲート行動化計画について 8. 産別協定の編纂について 9. その他/新橋駅前宣伝行動、国民春闘・全労連に表敬訪問、石綿被害救済の学習冊子「アスベストを疑え」を購入、20労組打合せ会議。

<検討事項> 1. 石炭火力発電所の休廃止等に伴う港湾運送への影響に係る連絡対策会議フォローアップ会合 2. 労使政策委員会に向けた考え方 ①各委員会の協議促進/安全専門委員会（熱中症対策、フルハーネス・危険品荷役・放射線検診などの課題整理と促進のための具体策の検討）、福利構成拡充専門委員会の協議促進 ②急ぐべき課題/労働時間短縮に基づく週休二日制の実施状況の調査、料金PTの取り組みとしてガイドラインの自主的計画の開示と会員店社への周知 ③別枠協議として、放射線量検査、日興サービスの賃

上げ支援について 3. 第19回定期大会の準備 ①25年度経過、26年度方針、産別スト権確立、26秋年末闘争方針、決算予算案の確認 ②役員選考委員会の設置 ③大会挨拶要請 ④大会役職員の選任 ⑤大会特別決議 ⑥第19回大会へのオブ参加者の取扱い等 4. 横須賀新港ふ頭へのフェリー就航に係る雇用問題 5. 放射線量検査に係る対応の課題/名古屋港の自社検 6. 港運同盟との「共闘関係」を巡る協議について/7月14日協議報告 7. 「JAL 不当解雇撤回 100 万人署名」の取り組みについて 8. その他 9. 当面の日程。

7/15 全国港湾納涼会

納涼会は東京湾を一望できる東京港福利厚生協会が運営する「湾岸食堂・波止場店」で開催。当日は18時から、ITF（国際運輸労連）東京をはじめ、国交省、厚労省、日港協、日港福、安定協会、こくみん共済coopの来賓を迎え、総勢70名が参加した。懇親会ではゲーム大会なども行われ、約1時間30分にわたり参加者相互の親睦を深め、終始和やかな雰囲気の中で交流を図ることができた。



7/17 労使安全専門委員会（FAX 第5号）

＜討議経過＞ 1. 安全に係る26春闘協定の再確認 2. コンテナ船多段積み（東京港青海4号バースでの10段荷役）対策 ①業側からの10段積荷役の申請について。既存の協定（横浜南本牧）に東京青海CTを追記した協定案が提示された。②組合側は横浜南本牧で使用されている荷役機器（ゴンドラ）と形式が異なることから現地視察を不可欠である旨を主張し持ち帰り検討するとした。3. 熱中症対策 ①業側は関係行政との連名で日港協を含む関係業界団体に「対策の徹底」の事務連絡が4月1日に発出され、各地区港運協会に周知したことが紹介された。②組合は行政文書を添付し「注意喚起」の文書を発出することを検討するとした。4. 港湾労働者の放射線健康診断 ①業側は2011年8月以降1年間に線量検査に就労した労働者の検診を実施した結果、放射線量検査に起因する症状が出た方はなかったとして新たな健康診断対象の拡大について判断できる状況にないとした。②組合は健康管理の観点からも前向きな検討を求めるとともに労使協議を継続するよう要請した。5. パームヤシ殻等、バイオマス燃料荷役時の安全対策 ①組合側はパームヤシ殻や木質ペレット等の荷役・保管時における酸欠および火災リスクへの対応強化を求めた。②業側から酸欠欠乏危険は港湾防災協会の安全対策に反映し周知している旨の説明がされた。同時に火災リスクについては

、事例収集や情報共有を進めながら防災協会と連携して安全対策を検討していくこととした。6. 港湾労働に特化したフルハーネスの推奨 ①組合は労使で推奨していく取り組みを提起した。②業側は安全用品としての有効性は認めつつも推奨は港湾防災協会との連携を含め検討することが望ましいとの意見を示した。③今後は港湾防災協会の場なども活用しながら普及促進に取り組むこととした。7. その他の異常気象への対応 ①組合側は近年頻発する集中豪雨、突風、落雷等による労働災害リスクについて指摘し、気象警報はアラート発令時には作業中断を含めた安全確保措置を講じるよう要請した。②業側から各港において気象情報の研集会の開催など安全対策が進められていることが報告された。③今後は防災アプリ等を活用しながら異常気象による災害防止に努めることを確認した。

7/18 全港湾関西地方大阪支部50周年記念祝賀会

7/21 第10回常任中執会議

＜報告事項＞ 1. 横須賀港へのフェリー就航に係る「四者協議」の申し入れについて 2. 本牧D-5におけるターミナルゲート高度化計画について 3. 名古屋港の「自社検」に係る文書の提出について 4. 東京都港湾局による説明会について 5. ITFインスペクター制度の見直しとアジア太平洋地域の取り組みについて

＜検討事項＞ 1. 中央労使安全専門委員会（7月16日）協議では①安全に係わる26春闘協定の再確認 ②東京港（青海）での10段積荷役 ③熱中症対策 ④港湾労働者の放射線検診 ⑤ヤシ殻荷役の発火事故など危険品貨物等の取り扱い ⑥港湾労働に特化したフルハーネスの推奨（FAX 第5号参照） 2. 第19回定期大会に対する提案議題と大会準備 ①第1号議案（経過）、第2号議案（方針）の加筆・修正作業は書記局一任 ②第3号議案（産別スト権確立）、第4号議案（会計規程の改正） ③26年秋年末闘争方針案の加筆・修正作業は書記局一任 ④決議起草委員の選任は7月27日常任中執後に開催する 3. 当面の日程について

7/24 東京港「大井コンテナふ頭再編に関する説明会」

東京都港湾局による大井コンテナふ頭の再編整備（28年頃予定）に関する説明が行われた。

7/27 中央事前協議会

7/27 労使政策委員会（FAX 第8号）

＜討議経過＞ 冒頭、労務委員長の交代が紹介され、藤倉氏（三菱倉庫）から新任の挨拶が行われた。その後、組合側メモの項目に沿って日港協から逐条毎に回答がされた。1. 安全専門委員会を踏まえた措置 ①安全に係る行政の「事務連」等については情報共有するが、熱中症に関する「事務連」の発出は知らなかった。②熱中症についての「注意喚起」文書は次年度検討する。③熱中症対策事例は周知徹底を図り港湾防災とも連携を図る。2. フルハーネスの推奨 ①推奨は港湾防災に確認を取る。その他は港湾防災と情報共有していく。連携方法は現在検討中。3. 福利厚生拡充専門委員会の協議経過

①業側の専門委員会議事メモを第3回専門委員会で組合側に渡して共有化していく 4.産別協定の編纂 ①協定集の前文について検討中 5.労働時間短縮(26春闘協定第3項)に基づく「週休二日制の実施状況」の調査 ①労側の意見通り実施していく。内容は事務局間で調整し早急にアンケートを取り組む 6.料金 P/Tの取り組み ①ガイドラインの「自主的計画」は国交省と連携し、策定後に日港協ホームページに開示して周知徹底を図る ②「適正価格転嫁集中月間/9月」は例年同様、会員店社への周知徹底を行う ③ガイドラインのアンケートは既に周知されていると認識しておりアンケートの実施は考えていない ④内航フィーダー問題に関する労使連名の要請・申し入れは考えていない。業側として検討中である 7.別枠協議として日港協からの提案 ①放射線量検査についての組合の意見 ②26年度年末年始例外荷役についての労使協議 8.横須賀新港ふ頭のフェリー就航に係る「四者協議」に開催 ①業側で日程調整中 9.横浜港 D5 ターミナルでの OCR(文字画像認証技術)導入の説明

7/27 福利厚生拡充専門委員会 (FAX 第9号)

<協議経過> 1.専門委員会委員長より前回課題提起された各地区福利厚生協会及び組合員からの窮状について聞かせて欲しいとした 2.労側の要点取りまとめ ①港湾福利分担金等の有効活用、休憩所の改修、女性専用のトイレ・シャワー室の設置、トイレ修繕、大規模修繕工事、福利厚生協会職員(食堂含む)の賃上げや労働条件の引上げ、新規採用者対策 3.業側及び日港協の回答 ①地区福利厚生協会は独立採算で行っている。分担金も含めて独立して事業運営している中で突っ込んだ内部事情は聞けない。労働条件の引上げや職員登用の厳しい面は実情として聞いておく。次年度の修繕・補修・新規事業については、地区から中央に対して予算申請を行い、ヒヤリング後、理事会を通して承認を受けることになる。休憩所は管理者が自治体、企業、日港協と分かれており、日港協が直接介入できない箇所もある。福利厚生協会の財務状況が苦しいと言うのは、聞いたことがない。毎年10月に「全国専務理事会」を開催して実情を聞いている。女性専用トイレ・シャワー室の設置など着実に進めているという認識であり、限られた原資の中で決めている。

4.確認事項 ①組合から各地区の福利厚生協会の問題と解決策を集約していく ②集約状況を10月9日に行われる「全国専務理事会」で組合側が照会した地区;の実状について報告することとした ③専門委員会は根本的に原資不足が生じるのか検討を行う。5.次回専門委員会は9月30日(水)からを確認した。

7/27 第11回常任中執会議

7/27 大会決議起草委員会

7/28 全国港湾教宣委員会

7/31 安定協会制度専門小委員会(リモート対応)

7/31 全横浜港湾サマーフェスタ

関係組合機関誌等 <7/1 ~ 7/31>

◆「全国港湾」第399号 2026年6月15日

発行：全国港湾労働組合連合会

▶ITF 港湾部会・公正慣行委員会と運営委員会 ▶国会議員要請(適正料金・特定利用港湾などで) ▶第19回港湾労働セミナー開催/港湾労働席ナー参加者感想 ▶「港湾を兵站基地にするな」「港湾労働者と戦争を考える」戦争はぜったいダメ!全国港湾としてのこれらのありかた ▶リレー随筆/昭和の残党浅草地下街

◆「全倉運」第1553号 2026年7月10日

発行：全日本倉庫運輸労働組合同盟

▶2026年春闘を総括 全倉運第272回中央委員会/賃上げ交渉、全単組が妥結、ベア獲得単組前年と同水準 ▶2026年春闘/賃上げ・夏季一時金回答状況、各団体の賃上げ・夏季一時金集計 ▶大阪中小共闘会議/26春闘総括会議 ▶東海地連/ボウリング大会開催 ▶5年連続で1万超え、食品の値上げ年間品目数 ▶5ヶ月連続のプラス、5月の実質賃金 ▶連合総研勤労者短観/宇世帯の割合、改善せず ▶約半数が価格転嫁できず、中東危機の影響を日商などが調査

◆「日通労働」Vol.3015 7月

発行：全日通労働組合

▶特集Ⅰ 第81回定期全国大会に向けて/全国大会スローガン“持続可能な社会の実現に向け仲間と共に 新たな一歩を踏み出そう” 2025年度の運動・活動を振り返って/2026年春季生活闘争(妥結結果)、社員制度・賃金制度・人事制度等に関する課題への対応、会社経営に対する組合の取り組み 2026年度の主な取り組み/賃金引上げ等、より良い社員制度・賃金制度に向けて、権利確保と労働協約を守り改善する取り組み、会社経営に対する組合の対応、戦力構造の構築と雇用施策の確立、安全衛生と交通事故対策の取り組み 運動のすすめ方と組織の強化/2027年度以降の組織運営、男女平等参画の推進等を含めたジェンダー平等の推進 第81回定期全国大会の開催告示、中央代議員割当、特別中央代議員の選出について ▶特集Ⅱ 第14回組合員意識調査の集計結果 ▶2025年度中央女性委員会 ▶Communication Plaza「我が家のペット自慢」 ▶エンタの森 Goods、パパッとグルメ、雑学スクランブル、旅の目的地「道の駅&SA」 ▶全国エリア支部の委員長・書記長紹介(九州ブロック) ▶全日通-業種別会議(海運) ▶仲間の写真展/拝見!あなたのお気に入りの写真 ▶委員長コラム「時代と環境の変化に柔軟に対応しながら運動と組織を最適にチューニングしよう」 ▶主張/2026年の酷暑に挑む:法改正を契機とした「熱中症ゼロ」に向けて ▶イチ押しスポット/松尾芭蕉をはじめ多くの著名人が訪れた古代からの歴史を有する温泉街・飯坂温泉・福島県福島市

◆「フェニックス」第429号 2026年7月1日

発行：航空安全推進連絡会議 日本乗員組合連絡会議
航空労組連絡会

▶2026春・夏闘/安全と人材確保・夏闘の成果と課題、JAL・ANA 夏季一時金2ヵ月、外航2労組にベア回答 ▶安全運航支える職場からの警鐘/慢性的な人員不足と人材育成に課題、グラハン職場の安全・健康アンケート結果 ▶中堅航空会社の2025年度決算と2026年度業績予想/中堅航空4社、外貨建て費用が重荷 ▶JCU 客室乗務員の声を届ける春闘交渉/SKY・ZIPで賃金アップ、職場改善へ交渉継続 ▶ITF ニュース/客室乗務員は安全のプロフェッショナル、5月31日国際キャビンクルーデー▶安全会議だより/悪天候下で安全支える最前線、東京管制部の夏期運用、管制体制拡充が必要 ▶読書のススメ/真っ白なパスポートと忘れられない旅のつばくろ/沢木耕太郎著

◆「船員しんぶん」第3121号 2026年6月25日

発行：全日本海員組合本部

▶新日本海フェリー/北海道小樽港と京都府舞鶴港を結ぶ「けやき」・昨秋デビューの「けやき」に舞鶴港から乗船訪船 ▶共和産業海運/新造船・新共和丸が就航 ▶第81年度新任執行部員研修会/新たな16人の執行部員が組合活動と執行業務を学ぶ ▶第81年度第1回教宣委員会を開催/若い組合員に組合活動を知ってもらおう ▶東海汽船/さるびあ丸で伊豆大島へ ▶海員福祉研修会館/ホテルマリナーズコート東京 ▶家族のひろば ▶童話・潮の香/満月に海賊船がやってくる ▶カップルで一緒に食べよ/鶏ささみの梅しそあえ ▶ザ・クロスワード ▶みんなのイラスト

◆「船員しんぶん」第3122号 2026年7月5日

発行：全日本海員組合本部

▶「船員の日」感謝の会/金子恭之国土交通大臣から感謝の言葉、6月25日は国連・国際海事基幹(IMO)が定めた「船員の日」▶ホルムズ海峡封鎖に伴う中東情勢の現況/日本人船員全員がペルシャ湾外へ退避(24人→0人) ▶「J-CREW プロジェクト〜やっぱり海が好き〜」博多港ベイサイドミュージアムで特別展示・巡回展を開催 ▶九州関門地方/船員要請教育機関 船員との懇談会 ▶北海道・小樽市立稲穂小学校/小学校5年生49人が参加 学び舎 船と船員さん教室

◆「船員しんぶん」第3123号 2026年7月15日

発行：全日本海員組合本部

▶無人運航船プロジェクト・MEGURI2040・国土交通省と海員組合が合同で視察/機関部実証実験で船陸間の役割・作業を検証 ▶長崎県立長崎鶴洋高等学校/水産高校生が内航タンカーを見学 ▶九州関門地方支部/第15回就職支援検討委員会 ▶北海道地方支部/小樽地区漁船組合員大会 ▶海員スポーツイベント/小樽地区漁船

ボウリング大会、中四国地方支部ボウリング大会

◆「海員」2026年7月1日 7月号 通巻924号

発行：全日本海員組合本部

▶金毘羅安全祈願祭/九州関門地方支部 ▶沖合底引き網漁船「第一田井丸」就航/藤島漁業 ▶八戸地区・中型イカ釣り漁船出港/ヤマツ谷地商店 ▶石川県小木港・中型イカ釣り漁船出港 ▶神戸市三宮・第53回神戸まつり ▶漁業技能実習生への労働関係法令講習を実施/浜串漁業協同組合 ▶漁師の仕事！知る授業・漁業ガイダンス開催/神奈川県立海洋科学高等学校、小名浜海星高等学校 ▶本船の若い人 ▶組合本部活動だより/総合政策部、水産部、第394回全国評議員会、第81年度外航・水産・国内第2回各部委員会 ▶漁師の仕事！船と漁業を知る授業開催/静岡県焼津市 ▶特集「有明海を行く」/九商フェリー ▶組合活動レポート・船員を目指そう！フェリーあい体験航海/大阪支部長 ▶第43回横浜港カッターレース ▶絵子の休日「第2回」26ミス日本「海の非」野口絵子さん ▶海員文芸サロン ▶家族のひろば ▶ふおつと川柳俳句はじめました ▶宿泊施設・医療施設

◆「月刊 労運研レポート」No.142 2026年7月号

発行：労働運動研究討論集会実行委員会

▶県内労組で秋田労働局と秋田県に最賃の発行日の先延ばしをやめるよう申し入れる/最賃大幅引上げキャンペーン委員会・三澤昌樹 ▶2026 中央最低賃金審議会にむけた7.2 共同行動がおこなわれる/最低賃金全国一律・大幅引き上げ実現！共同アクション

◆「学習の友」2026 8月号 No.876

発行：労働者教育協会

▶特集トランプが壊した平和―対米従属をのりこえる軍拡と米日軍事一体化は戦争への道/吉田敏浩、トランプが壊したアメリカ・世界/本田浩邦、アメリカ・イスラエルによるイラン侵略をどうみるか/栗田禎子、日米防衛産業一体化と日本産業/村上研一、軍事要塞化する沖縄の今をどう見るか/秋山道宏、教育現場への不当な介入は許されない/山田由美、港の軍事利用に反対する産業別ストライキ/諸見力(全港湾沖縄地本)、原民喜の被爆体験とその死/澤田章子 ▶労働者のための住宅問題入門・住宅政策の新自由主義化/佐藤和宏 ▶労働基準法を考える・規制緩和を正当化する考え方/伊藤圭一 ▶学びあいのチカラに「学習の友」を/傳田明 ▶勤労者通信大学のすすめ/穴井輝明 ▶かがやいています、あったかほっこり労働運動、自然と人間の共生、ジェンダー問題を考える、シリーズ貧困の現場から③ グローバルに見る、川柳「砂時計」、まんが〜おかしい世界 ▶労働者教育協会第66回総会 ▶本の紹介 山田敬男著「新戦後日本史―社会変革への挑戦」 ▶「学習の友」ファンクラブ ▶職場から地域から ▶労働学校・講座情報 ▶編集後記

◆「学習の友」 2026 別冊

発行：労働者教育協会

▶シニア虐待政治を変える世代間連携の力

世代間対立から“労高連携”へ/唐鎌直義、老後の安心は投資で約束されるのか NISA プームを考える/鳥畑与一、再雇用時の賃金ダウンをどう考えるか/松丸和夫、働く高齢者の現状と課題、年金制度の問題点と高齢者の年金改善要求/木田保男、高齢者医療の課題と医療労働者の待遇改善/渡辺勇仁、人権としての介護保障をめざし、介護の国庫負担ふやせの大運動を/林信悟 ▶コラム 高齢者が支える農業・水産業、高齢者と犯罪、老老介護とヤングケアラー

◆「K」LINE NEWS」No.687 2026 Summer

発行：川崎汽船サステナビリティ・環境経営推進・IR・広報グループ

▶2025 年度表紙写真コンテスト結果発表/グランプリ作品「馬上からの朝日（トルコ・カッパドキア）」▶ようこそ!!新入職員/入社式4月1日、新入社員研修タイムスケジュール、ビジネスマナー研修、ウェザーニュース社見学会、マジメントゲーム、ビジネスシミュレーション、グループ会社合同研修、人事から関係者・社員の皆様へ御礼、人事から新入社員へのメッセージ▶新しい仲間（キャリア）▶新任船機長挨拶▶海上職員登用式開催▶あなたの味方、ホットライン/企業法務リスク・コンプライアンス統括グループ▶トピックス/中東情勢で乗船勤務が長引く船員を応援する動画を公開〜船上の仲間へ届け!!家族とつなぐ応援メッセージ、Diamond Global Energy 向け LNG 船を“DIAMOND GAS JADE”と命名、欧州近海事業向け LNG 燃料自動車専用船4隻の建造契約を締結、Northern Lights 社向け新造液化CO2船の定期傭船が決定、マレーシア海事大学と奨学支援制度に関する覚書を締結、Maritime Anti-Corruption Network (MACN) の春季会議に出席しました、「電子MOチェックシステム」を当社管理船へ導入〜乗務員の安全性向上と作業負担軽減に向けた取り組み〜、JAL・JR 東海と共同で女性技術社による対話型イベントを開催、K-LINE Group 環境アワード2026 受賞者発表、コベルコ神戸スティーラーズ当社冠試合「K」LINE スペシャルサンクスマッチ開催、Sea Japan2026 に出展しました▶ちょっと気になる?!あのチームのお仕事大公開/IR・ESG 推進チーム編▶地元民がおすすめしたい ご当地推しグルメ第7回「福岡/ラーメン3選」▶海外だより/私の住んでいる街・メルボルン、南米アンデスだより第20回、絶対に負けないコンテナ船社対抗ドラゴンボート大会・シンガポール▶Sustainability News Vol.21▶進め!デジタルトランスフォーメーション! Vol.20▶海帆さんの夢航海 大海原に行く/テーマ「ペロプスカイト太陽電池」▶クラブだより/カッター部、テニス部、ラグビー部、将棋部▶お知らせ/ハラスメント社内相談窓

口についてご存知ですか?▶特別寄稿「田んぼでGO!世界大会」2 連覇への道のり▶季節のクロスワードかざる▶読者の意見/編集後記

◆「につけん」 2026 Summer VOL. 708

発行：日本貨物検数協会

▶第84期定時総会開催・新役員体制、会長就任挨拶、退任役員挨拶、新会員紹介、懇親会の様子▶新入職員54名が参加・2026年度新入職員中央研修を開催しました▶先輩たちの経験から学ぶ!新入職員へ贈る仕事の心得▶海外港視察レポート・マレーシア、オセアニアの港湾から見る港の役割とこれから・オセアニア3港にみる港の役割の違い（メルボルン港・オークランド港・アピア港）、海外視察で見た3つの視点、マレーシアの成長港湾に見る“港の競争力”▶今年も専門学校で講演会を実施しました/東京支部次長▶りんどう荘の予約▶社内通信・異動

◆「港湾」Vol.103 May 2026 7月号 7月25日

発行：公益社団法人日本港湾協会

▶巻頭言 港湾・海岸の強靱化の枠組み/磯部雅彦▶特集 港湾と釣り文化振興 ○座談会 釣りと港/常見英彦、芝田浩二、上園あゆみ、花田祥一（司会）○港湾局の釣り文化振興に対する取り組み/佐々木利章 ○みなとにおける釣り場会費の意義/岡田信義 ○釣り文化文化振興モデル港直江津港/宮越繁洋、石橋哲 ○三位一体で創出する「みなと」の価値/吉野生也 ○釣り文化振興モデル港熱海港/藤原秀人 ○北九州港と釣り文化振興について/高宮俊諦 ○比田勝港の釣り文化振興モデル港としての挑戦/梯浩史郎 ○column みなとで使う釣り道具・エサ、竿・リール編/山本俊幸、仕掛け編/岳原雅浩 ○六甲マリンパークにおける DX を活用した持続可能な釣り場運営/吉田学 ○釣り調査を取り入れたみなとの環境学習/大坪貴明 ○横浜港の豊かな海づくり/浅野善広 ○釣りをする際のルールとマナーについて/吉野生也 ○マリーナからの船釣りの魅力と海洋レクリエーション振興/石田和昭 ○釣りを安心して楽しむために/江口満 ○column みなとで使う釣り道具・エサ、餌編/沢田典大、ウエア編/松本志明 ○釣りから始まる水際線のフル活用/高阪雄一 ○人はなぜ釣りに魅了されるのか/山根和明▶Current 横浜グリーンエキスポ/生田陽梨▶World Watching[連載第314回]シンガポール港トゥアスターミナル自動化の進化と新展開/芝崎康介、二宮久季▶港の現場最前線[連載第160回:仙台塩釜港]仙台塩釜港仙台地区のクルーズ船受入の取り組みと今後の展望▶我が町のみなとを再発見[連載第325回:釧路港]釧路港長期構想▶みなとまちづくりマイスター紹介[連載第82回:八戸港]Hachinohe をあこがれの街に/町田直子▶港湾用語の基礎知識[連載第171回]Sea 級グルメ▶ニュースフラッシュ▶協会通信▶令和9年度「社会科学による港湾に関する研究」の募集▶港湾観測▶読者の声▶編集後記

◆「港湾防災」第738号 2026年7月10日

発行：港湾防災防止協会

▶令和8年度第1回理事会・通常総代会開催 ▶「千葉総支部発」わが社の安全衛生活動/株式会社日新千葉現業部長・池田潔 ▶「九州総支部発」安全管理士(員)活動報告/九州総支部駐在安全管理士・宮川敏樹 ▶令和8年度港湾労働災害防止協会無災害記録表彰・29無災害記録表彰8事業場(うち第5種は9事業場)受賞 ▶令和8年度無災害記録表彰第4種・第5種受賞事業場のご紹介 ▶無災害記録表彰・最高位「第5種」の事業場からの報告/東北汽船港運株式会社(兼業部門で無災害時間が397万8千時間) ▶しゅふ川柳2026の紹介 ▶最新の安全衛生対策機器のご紹介/発汗・塩分喪失量を見える化:アセミル ▶厚生労働省からのお知らせ「令和8年度エイジフレンドリー補助金」熱中症対策コースのご案内 ▶コラム(宮古支部からの報告)「平良港を支える宮古島の暮らしと未来―港から歩いて楽しむ宮古島の魅力―」/沖縄総支部宮古支部事務局主管者・仲間寛則 ▶会員事業場における労働災害(休業4日間以上・令和7年1月〜12月) ▶本部・総支部・支部の各種行事日程のお知らせ ▶月例死亡災害発生件数の推移・総支部一覧

◆「大原社会問題研究所雑誌」NO.813 2026.7

発行：法政大学大原社会問題研究所

▶【特集】軍都広島における在日朝鮮人と日本社会―植民地支配・戦争・冷戦のなかを生きる(1) 特集にあたって/愼蒼宇、植民地期広島における在日朝鮮人の人口・就業・生活―1920年代を中心に/愼蒼宇、寄留制度と朝鮮人徴兵制―広島市公文書館所蔵旧役場文書の検討から/檜皮瑞樹 ▶書評と紹介 ケイト・ムーア著/松永典子・山口菜穂子・杉本裕代訳「働いて愛して生きるために女たちは闘わなければならない―ラジウム・ガールズのアメリカ」/藤川賢、飯田未希著「女たちよ、大志を抱け―戦時下、外地で就職する」/堀川祐里、結城翼著「東京の都市下層再編と山谷地域―都市インフォーマリティと貧困管理」/後藤広史 ▶社会・労働関係文献月録 ▶月例研究会 ▶所報2026年3月

◆「こくみん共済 coop」2026. JUL Vol.115

発行：全国労働者共済生活協同組合連合会

▶トっプインタビュー 共済を通じて職場に目を向け、全国の組合員の声に真摯に耳を傾け、寄り添い続けたい/金子晃浩会長(全日本自動車産業労働組合総連合会) ▶こくみん共済 coop 中央推進会議 NEWS/第92回全体会議 ▶組織推進部 NEWS/経過報告・活動計画全国説明会 ▶ファイナンシャル・プランニング講座/共済と保険の違いを、労働組合の原点から考える ▶訪問先のご近所グルメ/東京千代田区「飛騨居酒屋・蔵助」 ▶こくみん共済 coop Vol115 読者アンケート&プレゼント

◆毎月勤労統計調査月報 ―全国調査―

No.926 (26年7月2日到着分)

2026年(令和8年)3月分結果の概要

▶賃金

令和8年3月の現金給与総額は規模5人以上で318,563円、前年同月比3.1%増(規模30人以上では359,724円、前年同月比3.6%増)となった。

現金給与総額のうち、きまって支給する給与は292,612円、前年同月比3.3%増(規模30人以上では前年同月比4.1%増)となった。

また、所定内給与は272,171円、前年同月比3.4%増(同3.9%増)で、所定外給与(超過労働給与)は20,441円、3.1%増(同5.3%増)、特別に支払われた給与は25,951円、0.7%減(同0.7%増)となった。

実質賃金(総額)は規模5人以上で前年同月比1.4%増(規模30人以上では前年同月比1.9%増)となった。

▶労働時間

令和8年3月の総実労働時間は規模5人以上で133.4時間、前年同月比0.5%減(規模30人以上では140.1時間、前年同月比1.4%減)となった。

総実労働時間のうち所定内労働時間は123.3時間、前年同月比0.6%増(規模30人以上では前年同月比1.6%増)、所定外労働時間は10.1時間、1.0%減(同前年同月と同水準)となった。

また、製造業の所定外労働時間は規模5人以上で14.1時間、前年同月比3.0%増(規模30人以上では前年同月比4.0%増)となり、季節調整値でみると前月比1.2%増(同前月比1.5%増)となった。

▶常用雇用

令和8年3月の常用雇用は、規模5人以上で前年同月比1.1%増(規模30人以上では前年同月比0.8%増)、就業形態別にみると、一般労働者は0.7%増(同0.7%増)、パートタイム労働者は2.2%増(同0.7%増)と主な産業についてみると、製造業は規模5人以上で前年同月比0.3%増(規模30人以上では前年同月と同水準)、卸売業、小売業は0.3%増(同0.1%減)、医療、福祉は1.7%増(同1.1%増)となった。

全国港湾関係資料 < 7/1 ~ 7/31 >**新聞図書関係**

- ① 日本経済新聞 (日経)
- ② しんぶん赤旗 (赤旗)
- ③ 物流ニッポン (物流)
- ④ 日本海事新聞 (海事)
- ⑤ マリタイムデーリーニュース (MD)

海運・港運・物流関係 (資料 1) <7/1~7/31>

- 7/1 日本維新の会、港湾運送料金の改定促進要請 (MD)
- 7/1 「大規模 CT 整備と自動化は両論」
第 4 回港湾ロジ WG・議事概要 (MD)
- 7/3 価格転嫁状況、トラック・最下位変わらず (物流)
- 7/7 競争激化していく 3PL 事業 (物流)
- 7/8 海上落失コンテナ 大規模事故で増加 (海事)
- 7/9 ホルムズで被弾 カタール、イランを非難 (海事)
- 7/9 国土強靱化年次計画 供給網強化や港湾防護 (物流)
- 7/10 ヒト・機械の融合で持続可能な港湾に
国交省港湾経済課長 末満章悟氏 (MD)
- 7/13 海運 1120 万円 25 年度産業別平均給与 (海事)
- 7/13 荷待ち・荷役「2 時間以内」達成
国交省調査 改正物効法で前進 (海事)
- 7/14 世界の主要港湾都市ランキング
シンガポールが 13 年連続でトップ (MD)
- 7/14 無人自動運転 車両・交通・遠隔監視に指針 (日経)
- 7/14 コンパス普及 東西で差 危機感・影響 (物流)
- 7/14 長時間労働改善へ検討 全ト協海コン部会 (物流)
- 7/16 NX 総研・26 年貨物輸送見通し
外貿コンテナの輸出を上方修正 (MD)
- 7/16 国交省、港湾技術開発制度の公募開始 (MD)
- 7/21 物流政策関係者会議が発足
「ドライバーの幸せ」追求 (物流)
- 7/22 「荷役機械」国内生産体制強化で低コスト化へ (MD)
- 7/22 運輸総研がシンポ「標準の港湾へ」 (MD)
- 7/24 横浜・神戸港で輸出入額が過去最高
5 大港、上半期の貿易概況 (MD)
- 7/24 適正原価設定へ初会合
国交省方針 算定式・単価を提示 (物流)
- 7/24 厚労省公表「過労死など労災補償」
運送業、脳心疾患で最多 (物流)
- 7/28 政府、骨太方針決定 物流担い手確保・育成
運転対応 法令見直し (物流)
- 7/28 大型車 絶えぬ重量超過 荷主の圧力 (日経)
- 7/29 戦略産業クラスター計画の素案
九州が「港湾ロジスティクス」選択 (MD)
- 7/30 日港協、船社要請前の協議開始を提案
年末年始荷役、組合「内部検討」 (MD)
- 7/30 熊本地震 金子国交相 早期復旧へ全力 (海事)
- 7/31 世界 CT 運営 19 社 シェア 5 割に (海事)
- 7/31 郵船が一転最終増益
コンテナ船運賃、想定超え (日経)

政治・経済・文化等 (資料 2) <7/1 ~ 7/31>

- 7/1 39 年半ぶり 162 円台
ドル一強に届した円 1 (日経)
- 7/2 高卒求人 4 倍で最高 就活解禁
県外人材にもアピール (日経)
- 7/3 野党 9 会派「国会正常化へ」
参院正副議長に申し入れ (赤旗)
- 7/3 物価高踏まえ大幅引き上げを
最賃共同アクション (赤旗)
- 7/4 長期金利上昇一時 2.81%
29 年ぶり高水準 財政悪化に懸念 (赤旗)
- 7/4 遺跡・文化遺産 3 分の 2 破壊
ガザ救済歴史と記憶 (赤旗)
- 7/5 武器購入元 米国 1 位
25 年度防衛省 前年度比 1100 億円増 (赤旗)
- 7/5 欧州に熱波 仏で 44 度・死者 2 千人
「労働者守る策を」 (赤旗)
- 7/5 独 極右党大会に 5 万人抗議デモ (赤旗)
- 7/7 家計の金融資産 2059 万円
昨年最高 NISA 運用の世帯増 (日経)
- 7/21 高市内閣支持下落
「毎日」では不支持が逆転 (赤旗)
- 7/21 サッカー W 杯 2026 スペイン制覇 (赤旗)
- 7/21 W 杯 深刻な岐路 サッカーの魂、取り戻せ (赤旗)
- 7/22 価格転嫁促進へ組織改編
公取委 局新設や地方拠点格上げ (日経)
- 7/23 163 円台、39 年ぶりの水準
市場に「170 円シナリオ」 (日経)
- 7/23 フーシ、紅海の海峡「封鎖」
原油価格、署名前の水準に (日経)
- 7/28 熊本で震度 7
イオンモール爆発 10 人安否不明 (日経)
- 7/30 熊本地震。企業に痛手
半導体生産停止 車工場、稼働見通せず (日経)
- 7/30 最賃、現実路線の 4.9% 決着 1176 円
6 年ぶり伸び縮小 (日経)